

2025 年 1 月 16 日

一般社団法人 電子情報技術産業協会
事業推進部

JEITA 「IoT 向けエネルギーハーベスティングの動向と標準化セミナー」ご案内

本格的な DX 化、次世代移動通信の普及、ネットゼロへの加速など、経済や企業の取り組みが大きく変わり、欧州バッテリー規制なども見据えて、エネルギー供給の仕組みが変革を迎えています。JEITA では、将来のエネルギーハーベスティングに係る動向調査及び標準化を進めております。その活動の一環として、IoT のための独立電源としてのエネルギーハーベスティングに関する先端技術を俯瞰し、その現状と将来を議論することを目的に、当初産総研（主催）と JEITA の共同で開催していた「エネルギーハーベスティングに関する研究会」を継続して、表記セミナーを JEITA 主催で開催しています。8 回目となる今回も、各分野の第一線で研究開発に取り組まれている方々に、エネルギーハーベスティング技術の動向や応用、そして普及拡大に必要な標準化に関してご講演頂き、さらなる議論を深めたいと考えています。

JEITA 会員企業はもとより、本テーマに関心のある多くの方々に是非参加頂きますよう、ご案内致します。

日 時：2025 年 2 月 18 日（火）13：30～17：45

場 所：（社）電子情報技術産業協会 402 会議室

東京都千代田区大手町 1-1-3 大手センタービル 4 階

※ 今回は、ハイブリッド開催となりますので、オンライン参加も受け付けます。

※ 会場参加者には、入退館に必要な QR コードを発行致します。

■ 申込サイト：<https://www.jeita.or.jp/form/custom/402/form>

■ 主 催：ナノエレクトロニクス標準化専門委員会／ナノ・有機発電デバイス標準化 G

■ 参 加 費：3,000 円（資料代・消費税含む）

■ 参 加 定 員：会場参加 40 名（定員になり次第締め切ります）。

オンライン参加には定員はございません。

■ 申 込 方 法：上記申込サイトからお申し込み下さい。

お申込み頂いた方には、開催後、電子請求書を送付させていただきますので期日までにお振込下さい。

■ 申 込 期 限：2024 年 2 月 11 日（火）

■ 事 務 局：一般社団法人 電子情報技術産業協会 事業推進部（布川・澤田）

E-mail tsc4@jeita.or.jp

■■プログラム（案）■■

13:30【開会挨拶・趣旨説明】

奥 良彰 JEITA ナノエレ標準化専門委員会／
ナノ・有機発電デバイス標準化 G 副主査
ローム(株) 研究開発センター 副センター長

13:35「標準化のビジネス活用」

江藤 学 氏 国立大学法人一橋大学
経営管理研究科経営管理専攻 特任教授
経営管理研究科経営管理専攻イノベーション研究センター 特任教授
商学部 特任教授

概要：開発された技術を市場に普及する上で、標準化は大きな役割を果たす。ルール作り、オープン・クローズ戦略、技術の信頼性向上の3つの観点から、「標準化」をビジネスで活用する上で必要な考え方を整理し、その活用を行ったいくつかの事例を紹介することで、標準化をビジネスで活用する価値の理解を高める。

14:25「超薄型有機太陽電池が可能にする柔軟・軽量の太陽電池とその応用」

福田 憲二郎 氏 国立研究開発法人理化学研究所 染谷薄膜素子研究室／
創発ソフトシステム研究チーム 専任研究員

概要：有機太陽電池・ペロブスカイト太陽電池をはじめとする次世代太陽電池はフレキシブル基板上に形成可能であるため、柔軟性や軽量性に富む新しい太陽電池の形態が実現可能であると期待されている。当研究チームはこれまでに、厚さ僅か1 μ mのプラスチック基板上に有機太陽電池を作製し、超柔軟・超軽量の有機太陽電池を作製し、その応用について研究を重ねてきた。本講演では最新の成果と今後の展望及び課題について議論する。

15:15「大学発の新奇物性研究を応用した熱電変換デバイス開発について」

佐藤 太紀 氏 TopoLogic 株式会社 代表取締役社長 CEO

概要：大学の物性物理の研究成果を活用したセンシングデバイスを事業化するという、新しい試みをご紹介します。デバイス開発への転換、開発マーケティング、サプライチェーンの構築など、実際に大学の研究成果から製品化するまでの過程や、研究成果の事業化までの様々な課題についてをご紹介します。企業や事業として期待される視点と、研究で要求される視点の差分についても触れ、事業化への移行についての期待をお伝えいたします。

16:10 「エネコートの作るペロブスカイト太陽電池「どこでも電源®」について」

堀内 保 氏 株式会社エネコートテクノロジーズ 取締役／最高技術責任者

概要：エネコートが作るペロブスカイト太陽電池は、室内のように暗いところから光が強い屋外まで、様々な光の強さで発電することができる。また、フィルム基板上に形成できるため、軽くて薄い太陽電池を作ることができる。この特性を生かして、我々は設置場所を選ばず、至るところで発電できる太陽電池として、「どこでも電源®」と命名した。本発表では、この「どこでも電源®」としてのペロブスカイト太陽電池を紹介する。また、会場で簡単なデモンストレーションを行う予定である。

17:00 「電気機器近傍の電磁波ノイズエネルギーによる環境発電

－エコロジー社会の実現に向けて－

吉野 功高 氏

ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社

アナログ LSI 事業部 RF&光センシングデバイス部

プリンシパルエンジニア

概要：弊社が開発しました電機機器の近傍より発生する電磁波ノイズから高効率に電力を収穫できるエナジーハーベスト（環境発電）モジュールについて、実際にどのようにして、電力を収穫するのかを具体的な収穫方法及び具体的な機器を対象とした収穫量について、また、収穫電力を用いたアプリケーション及び機器の状態をみることを可能とするセンシング機能についての話をします。

17:45 終了

※ プログラムは変更になる場合がありますので、予めご了承下さい。